

大河津分水殉職者の慰霊式典を執り行います。

第77回大河津分水殉職者慰霊式を、次のとおり執り行いますので、お知らせします。

日時	平成24年4月20日(金) 10時00分～11時00分
場所	燕市大川津 (信濃川河川事務所 大河津出張所 構内)
主催	北陸地方整備局 信濃川河川事務所 大河津出張所
式次第	別紙のとおり
出席者	別紙のとおり

式典には一般の方も参加できます。(ただし献花は式典中ではなく、式典後をお願いします。)

※一般参加の事前申し込みは不要ですが、式典当日に、大河津出張所(1F)での受け付けが必要です。

【参 考】

○大河津分水の概要

越後平野は、信濃川等が運び出した土砂によって形成された沖積平野であり、大河津分水路ができるまでは、3年に1度は洪水被害の発生する水害常襲地帯でした。

大河津分水は、江戸時代からの悲願が実って、明治42年に着工し、大正11年に通水しましたが、昭和2年自在堰の陥没によりその機能を失ったため、突貫工事により復旧され、昭和6年に完工しました。

通水以来大河津分水は、90年近くにわたって越後平野を洪水氾濫から守り続け、地域の発展を支えてきたもので、越後平野の社会活動の維持・発展のためには最も重要な施設です。

○大河津分水殉職者慰霊式について

慰霊のための式典は、分水工事15ヶ年間(M42～T12)における殉職者のため、渡辺丈二・田沢実入・石原三保吉等(有志・在官者等)が発起人になって寄付金を募り、大正12年10月に、西蒲原郡国上村字石湊地先(現燕市渡部地先)の大河津分水路河畔(タぐれの岡)に慰霊碑を建て、招魂祭を執行し、遺族を弔慰したのが始まりです。(当時、殉職者84名の氏名を石碑「大河津分水工事殉職之碑」に刻印)

翌大正13年10月には、第1回目の慰霊の式典を執り行い、以来2～3年毎に秋に実施していましたが、昭和11年5月には分水第二公園へ遷座し、その後は毎年桜の咲く時期に実施(戦時中及び終戦直後一時中断)しています。

現在は、その後施工された信濃川補修工事、及び大河津分水完工後、維持管理等を行う上で殉職された16名(昭和40年度が最終)を含め、100名の氏名が石碑に刻印されています。

取り扱い:本資料の発表をもって解禁とする。

記者発表クラブ

長岡市政記者会

三條新聞社

問い合わせ先
北陸地方整備局信濃川河川事務所
大河津出張所 出張所長 小幡 淳
電話) 0256-97-2121
携帯) 090-2564-2225

注意 : 携帯番号へは、『非通知』設定では
着信できません。

慰靈式 式次第

1. 開式の辞
1. 黙 禱
1. 主催者式辞 大河津出張所長
1. 挨拶 信濃川河川事務所長
1. 来賓挨拶 大河津分水改修促進期成同盟会 会長 新潟市長
1. 来賓挨拶 信濃川・中ノ口川治水事業促進期成同盟会 会長 三条市長
1. 来賓挨拶 燕市長
1. 献花
1. 閉式の辞

慰靈式 出席者(予定)

新潟市 市長
議会議長
三条市 市長
議会議長
燕 市 市長
議会議長
長岡市 市長
議会議長

西蒲原土地改良区理事長
亀田郷土地改良区理事長
新津郷土地改良区理事長

燕警察署長
長岡地域振興局長
三条地域振興局長
燕市都市整備部長
長岡市寺泊支所長
長岡市中之島支所長

燕市五千石自治会長
燕市大川津自治会長
燕警察署分水交番所長

北陸地方整備局長
北陸地方整備局 河川部長
北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所長
北陸地方整備局 信濃川河川事務所長